平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別演習 II(Environmental InformationEngineering Seminar II)		授業コード	M001211	
担当教員名	吉森 聖貴		科目ナンバリン グコード	R30402	
配当学年	2	開講期	通年		
必修•選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件					
受講心得	授業時間に限らず、日常的な取り組みが重要です.				
教科書					
参考文献及び指定 図書					
関連科目	環境情報学特別演習I				

授業の目的	課題解決に向けた理論構築と計画にもとづいた研究遂行能力を身につけることを目的としています.
授業の概要	特別演習 I での成果を踏まえ、課題解決に向けた調査・実験を継続して実施します.

〇授業計画		
学修内容	学修課題(予習•復習)	
第1週:課題の説明とスケジュール 本講義の趣旨と目的,講義の進め方などのガイダンスを行います.		
第2週:文献調査(1) 本講義で必要となる先行研究の調査を行います.		
第3週:文献調査(2) 第2週に引き続き,本講義で必要となる先行研究の調査を行います.		
第4週:スケジュールの再検討(1) 特別演習Iの授業の中で立案したスケジュールにつてい、進捗状況に応じてケジュールの再検討を行います。		
第 5 週:スケジュールの再検討(2) 第4週で立案したスケジュールについて検討・見直しを行います.		
第6週:本実験(1) 課題解決に向けた実験を行います.		
第7週:本実験(2) 第6週に引き続き、課題解決に向けた実験を行います。		
第8週:本実験(3) 第7週に引き続き、課題解決に向けた実験を行います.		

第9週:	本実験(4) 第8週に引	4) 引き続き, 課題解決に向けた実験を行います.			
第10週:	データ整 3 第6週~9 十	理(1))週に渡って実施した実験によって得られたデータの整理を行いま			
第11週:	第11週:データ整理(2) 第10週に引き続き、実験によって得られたデータの整理を行います。				
第12週:	第12週: データ整理(3) 第11週に引き続き、実験によって得られたデータの整理を行います.				
第13週: データ分析(1) 第10週~12週にかけて整理した実験データについて詳細な分析を行います.					
第14週: データ分析(2) 第13週に引き続き, 実験データの詳細な分析を行います.					
第15週: 最終発表 講義を通して最終的に得られた結果について発表を行います.					
第16週:	第16週:				
		 (1)授業 の 形式	「演習等形式」	I	_
授業の運	営方法	(2)複数担当の場合の方式			
		(3)アクティブ・ラーニング			
地域志向	科目				
備考					

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	強い関心を持って積極的に取り組める.	
【知識・理解】	文献調査の内容を整理しまとめることができる.	
【技能・表現・コミュニケーション】	取り組み内容を解りやすく資料にまとめ報告ができる.	
【思考·判断·創 造】	修得した知識を活用して課題解決ができる.	

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表•- (無形	その他 成果)
【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。			20	点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		30点		

【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	10点
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。	30点	

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)		
発表・その他 (無形成果)		